

再発防止のあり方ワーキング（C）設置企画（案）

目的：センターに集積された医療事故の情報を再発防止へつなげるために、医療界へ還元する方策を検討する。

- 1) 現提言書のあり方
- 2) 新たな方策 等

1. 論点などの整理

- 実績：再発防止に向けた提言 No.1 ～ 14 公表（2021 年度 3 提言公表予定）
- 課題
 - 提言の位置づけ
提言とすると医療機関が行うべき義務と解釈され、係争に用いられる懸念がある。（再発防止委員会等での意見）
 - 企業における「期待したい事項」取り組みの促進
企業が提言の「期待したい事項」について取り組みが促進するような働きかけ（仕組み）が必要である。
 - 院内調査結果報告の活用
院内調査結果報告 1,874 件（2021 年 10 月）に対し、提言の対象事例は 150 件（提言第 1 号～第 14 号：2021 年 7 月）であり、1 割程度の活用に留まっている。
- その他
 - センター調査ワーキング報告書より（抜粋）
事例の個人情報の秘匿化や医療機関、遺族の同意の必要性について検討のうえ、センター調査報告書の「要約版」の公表に向けた問題の解決を図り、運営委員会に実現に向けた検討を行うことを要望する。
 - 学会からの要望
どのような事故事例があるか知りたい。件数だけでなく、内容がわかれば、学会から発信することができる。

2. WG の進め方

- 検討開始時期：2022 年 4 月頃
- 開催回数：4 回程度（1 回所要時間：2 時間程度）
- 検討結果の報告：2023 年度 第 3 回運営委員会への報告を基本とするが、進捗により対応する。

3. WG メンバー

- コアメンバー：運営委員会委員 6 名程度
- ヒアリングメンバー：必要時、招聘する
- ※オブザーバー：再発防止委員会委員長および委員